

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】特開 2005-339444 (P2005-339444A)

【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報 2005-048

【出願番号】特願 2004-160816 (P2004-160816)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/042 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/033 3 5 0 C

G 0 6 F 3/03 3 3 0 C

G 0 6 F 3/03 3 8 0 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 9 G 3/20 6 9 1 B

G 0 9 G 3/20 6 9 1 D

G 0 9 G 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 28 日 (2007.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を表示する画面上に入射した光の領域を検知するための光検知手段を備えた表示装置において、

前記光検知手段によって検知された前記領域を示す検知情報に基づいてデジタル画像データに変換し出力するための画像データ生成手段と、

前記画像データ生成手段から出力された前記デジタル画像データを画像処理して複数の前記領域をそれぞれに分割処理するための領域分割処理手段と、

前記領域分割処理手段により分割された前記領域の位置を特定するための座標を演算し求めるための位置演算処理手段と、を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記デジタル画像データは、

論理値「0」と論理値「1」の 2 値の階調情報により構成された 2 値画像データであることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記領域分割処理手段は、

前記画像データ生成手段により生成された前記デジタル画像データを順次走査し、

この順次走査において検知された前記デジタル画像データに対応する前記領域に隣接した 2 つの他のデジタル画像データについて、その両者の前記階調情報が同じ場合は共に同一の領域に属すると定義し、

この定義に基づいて同一の前記領域に属することを識別するために共通のラベルを前記

領域にそれぞれ付与し、

前記階調情報が互いに異なる場合は互いに異なる前記領域に属することを識別するために相異なったラベルを前記領域にそれぞれ付与し、

もって前記デジタル画像データがそれぞれ属する前記領域を区別することを特徴とする請求項 1 または 2 のいずれかに記載の表示装置。

【請求項 4】

前記形状パラメータは、

前記領域の面積を表す量、前記領域について前記画像の走査線方向への分布幅を表す量、前記領域の前記画像の信号線方向への分布幅を表す量のうちのいずれか 1 つ以上を含むことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 1 に記載の本発明は、画像を表示する画面上に入射した光の領域を検知するための光検知手段を備えた表示装置において、前記光検知手段によって検知された前記領域を示す検知情報に基づいてデジタル画像データに変換し出力するための画像データ生成手段と、前記画像データ生成手段から出力された前記デジタル画像データを画像処理して複数の前記領域をそれぞれに分割処理するための領域分割処理手段と、前記領域分割処理手段により分割された前記領域の位置を特定するための座標を演算し求めるための位置演算処理手段と、を備えることを要旨とする。